

17. 英語の世界化

要点

- なぜ英語は世界語になったか？
- World Englishes とは？
- 英語を位置づけるモデルは？

英語成功物語？

- 他民族，他言語との混交による
() な歴史
- () 以上の言語から語彙的な影響を受けた
- 文法が著しく () した
- フランス語のくびきから這い上がって近代期に () した

- アカデミーによらず，論争の末の「国民投票」で（ ）文法ができた
- 広く世界に受け入れられて「（ ）語」へ

英語成功物語の落とし穴

- 簡単な言語だから世界語になった？
- — 言語の () は計れない #293
- 英語は民主的？
- — 英語拡大の背景には () 主義
- 英語は優れた言語か？ #1072
- — 世界約 () 個の言語は言語学的には ()

なぜ世界語となったか #1082, #1083

英語が世界語となったのは、英語に内在する（ ）ゆえではなく、（ ）ゆえである。具体的には、軍事力、経済力、技術力などである。条件さえ整えばどの言語もその内在的性質にかかわらず世界語となりうる。

歴史のなかの世界語

- G()
- L()
- F()
- A()
- Ch()

複雑なラテン語の屈折と性

	2nd Decl.		3rd Decl.		4th Decl.	
	Sg.	Pl.	Sg.	Pl.	Sg.	Pl.
Nom.	alumnus	alumnī	corpus	corpora	apparātus	apparātūs
Gen.	alumnī	alumnōrum	corporis	corporum	apparātūs	apparātuum
Dat.	alumnō	alumnīs	corporī	corporibus	apparātuī, ū	apparātibus
Acc.	alumni	alumnōs	corpus	corpora	apparātum	apparātūs
Abl.	alumnō	alumnīs	corpore	corporibus	apparātū	apparātibus
Voc.	alumne	alumnī	corpus	corpora	apparātus	apparātūs

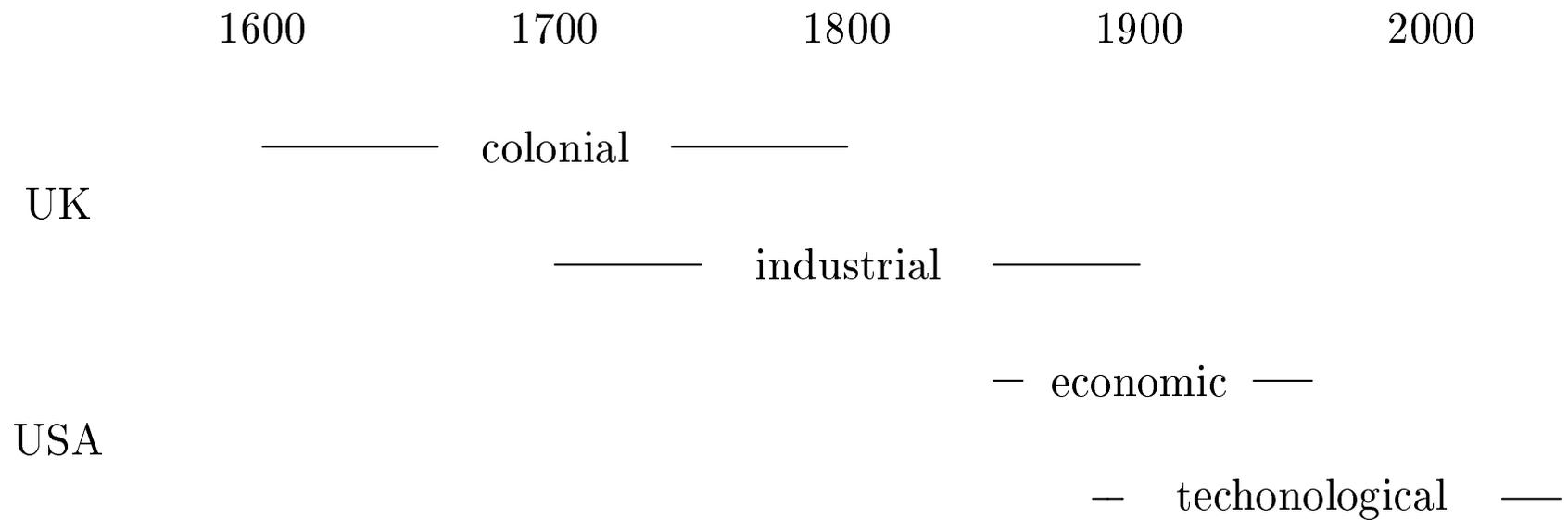
17–19 世紀の UK の影響力

In the seventeenth and eighteenth centuries English was the language of the leading () nation — Britain. In the eighteenth and nineteenth centuries it was the language of the leader of the () — also Britain.
(Crystal 120)

19 世紀後半以降の USA の影響力

In the late nineteenth century and the early twentieth it was the language of the leading ()
— the USA. (Crystal 120)

Power Shift from () to ()



英語の世界化

- 世界における英語の広がり #376
- ENL, ESL, EFL の基本 3 区分モデル
#173
- ENL, ESL, EFL の地域のリスト
#177, #215
- 植民地化の様式で見る ()
の分類 #409

英語の諸変種 ()

- 各変種のサンプル #1301
- 多くの変種にはさらに ()
が存在 #426
- Indian English, Singlish, Jamaican
English, etc.
- () and () #445, #463

() Creole の例 #385

- “()” = “I gave him”
- 英語の 1 変種と呼べるか？
- () 的には no , () 的
には yes
- () continuum
- 世界標準を目指す () 力かちりぢ
りに分裂する () 力か

様々な英語のモデル化 tag

[model_of_englishes]

1. ENL, ESL, EFL の基本 3 区分モデル
#173
2. Kachru の () モデル #217,
#222
3. () モデル #427
4. () モデル #426

5. () モデル #272
6. Modiano の () モデル #1096,
#1106
7. Graddol の () モデル
#414

まとめ

- 英語は () 的な理由で，歴史の () により世界語となった
- 世界語としての () と World Englishes への () 力
- 21 世紀にふさわしい英語のモデルは？ 英語の未来